

特許ポートフォリオの中で、問題のある特許、放棄されたテクノロジー、その他のトレンドを明らかにする

企業の特許ポートフォリオをすばやく分析するにはどうしたらよいだろうか？ 新たなターゲット市場やテクノロジー、または逆に、放棄されたテクノロジーはあるだろうか？ 潜在的に弱い知的財産はどうだろうか？ 出願時期、特許発行国、テクノロジーによって、企業の特許出願トレンドを把握する方法はあるだろうか？

Derwent Innovation によって企業の完全な特許ポートフォリオを取得することができます。当社の特許データには、包括的な譲受人情報が標準的な形式で含まれています。ワンクリックで、企業が所有するすべての特許ファミリーメンバーを検索結果に反映します。

ThemeScape マップなどの強力な自動ツールによって、完全なポートフォリオの検証や放棄されたテクノロジーの特定、問題のある特許の切り分けを行うことができます。

Derwent Data Analyzer (DDA) では、非常に詳細にポートフォリオを検証することができます。DDA の自動ツールは、人名、機関名、国、年、技術に基づく企業レポート (Excel ファイル) を作成します。

特許ポートフォリオを取得する

分析するポートフォリオを決定し、複数の譲受人フィールドを使用して包括的な結果を取得します。譲受人データには、誤解を招く不完全な内容や、誤った内容が含まれているため、複数のフィールドを使用する必要があります。

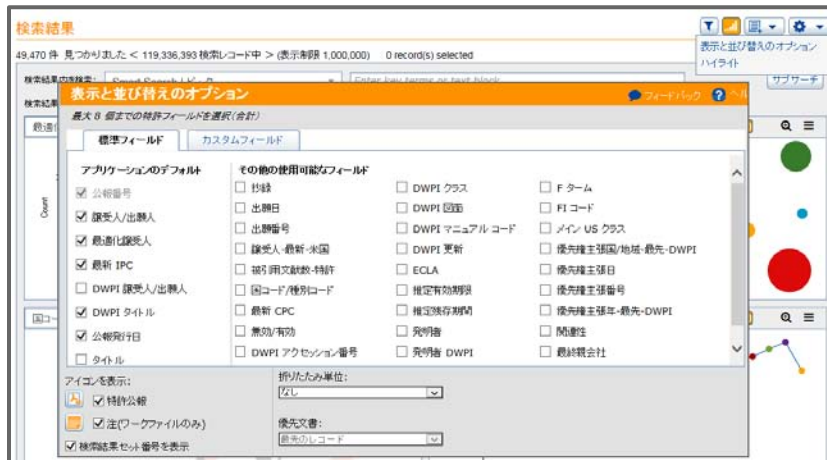
複数の譲受人フィールドによって企業を検索

- 2 つの [譲受人/出願人] フィールドによって、企業階層およびシンプルなキーワードの両方で検索します
- [譲受人-最新-米国] フィールドによって、合併または買収企業から特許を見つけます
- [代理人/連絡先] フィールドによって、譲受人情報が除外されている 2014 年以前の米国公開特許を見つけます
- [米国再譲渡の譲受人-最新] フィールドでは、直近の受領者への米国再譲渡を検索します
- [出願人コード-DWPI] フィールドでは、当社の専門家によって割り当てられた、独自のコードによって検索します

ヒント: Blueprint for Success のドキュメント「合併、買収、ライセンスのためにポートフォリオを評価する」では、Derwent Innovation によるポートフォリオのリサーチおよび評価の詳細について説明しています。

すべてのファミリーメンバーを検索に追加し、関連した登録特許で出願をグループ化

特許ファミリーは、異なる特許機関に出願された同一の発明をトラッキングしています。Derwent Innovation によって、通常の検索では見つけられないこのような関連したレコードを、検索結果に反映することが可能になります。特許機関は、初期出願や登録特許など、同一の特許に対して複数のレコードを発行することがよくあります。Derwent Innovation は、検索結果の中からこのような関連レコードをグループ化することができ、ある特許機関により発行された一連の関連ドキュメントをそれぞれ単一の項目としてレビューできます。



特許ファミリーの取得

1. このメニューアイコン  をクリック
2. [DWPI ファミリーを取得] または [INPADOC ファミリーを取得] を選択

出願番号によって関連レコードをグループ化

1. このアイコン  をクリックし、[表示と並び替えのオプション] を選択
2. [折りたたみ単位] で、[出願番号] を選択
3. [優先文書] で [最新] を選択
4. [OK] をクリック

ヒント: [表示と並び替えのオプション] では、必ず DWPI タイトルフィールドを選択し、検索結果の中に表示されるようにします。DWPI タイトルには、標準的な英語で書き直された発明の要約が記載されています。

潜在的に問題がある特許を特定する

米国特許法改正 (AIA) において、異議申し立ての可能性のある特許を見つける

異議申し立てられた特許は、特許ポートフォリオおよび法的状況調査に対して悪影響を及ぼす可能性があります。



1. 検索結果から上にスクロールして検索フォームを表示
2. [クエリーの表示と編集] の中で、AND 演算子を使用して、[INPADOC 法的状況コード (LSC)] フィールドを追加
3. 付与後異議申し立て (PGR)、当事者系レビュー (IPR)、ビジネス方法特許 (CBM) を指定して検索を実行

例: LSC=(PGR or IPR or CBM)

ヒント: 元の譲受人の検索式全体をカッコ()で囲み、その外に検索式を AND で追加します。以下の検索式例の太字のカッコ()に着目してください。

(CMP=("AMD" OR "ATITECH") OR PA=(Advanced ADJ Micro ADJ Devices) OR AGCR=(Advanced ADJ Micro ADJ Devices) OR CK=((ADMI-C)) OR CAS=(Advanced ADJ Micro ADJ Devices)) AND LSC=(PGR or IPR or CBM);

ポートフォリオに関連した訴訟を明らかにする

1. [クエリーの表示と編集] の中で、AND 演算子を使用して、[訴訟 (LTG)] フィールドを追加
2. 以下の式を使用して、訴訟データを含む特許を検索

LTG=(^" ^")

キャレット(^) および二重引用符(" ")によって、[訴訟] フィールドのデータの存在を検索します。

ヒント: 原告または被告の企業を検索することもできます。LTG を PF や DF に置き換えることによって、それぞれ原告または被告の企業が表示されます。

法的状況の詳細情報を調査する

INPADOC 法的状況		
公報日	コード	説明
2015-02-10	IPR	AIA TRIAL PROCEEDING FILED BEFORE THE PATENT AND APPEAL BOARD: INTER PARTES REVIEW TRIAL NO: IPR2015-00324 2014-12-10 異議申立人: LG ELECTRONICS USA, INC., LG ELECTRONICS MOBILECOMM
2012-10-04	FPAY +	FEE PAYMENT FEE PAYMENT YEAR 8
2008-09-18	FPAY +	FEE PAYMENT FEE PAYMENT YEAR 4
2001-03-02	AS	ASSIGNMENT ADVANCED MICRO DEVICES, INC., CALIFORNIA ASSIGNMENT OF ASSIGNORS INTEREST ASSIGNORS:ALTMER, MORRIS MENEZES, EVANDRO TOBIAS, DAVE REEL/FRAME:011623/0787 2001-03-01

米国訴訟	
<折りたたむ> 訴訟	
フィールド	データ
出願日	2014-03-05
原告	Advanced Micro Devices, Inc.
原告	ATI Technologies ULC
被告	LG Electronics, Inc. LG Electronics U.S.A., Inc.

1. 検索結果一覧の DWPI タイトルを調べ、興味のある特許をすばやく特定
2. [特許番号] のリンクをクリックし、レコードを表示
3. 右上の [全体表示] をクリックして表示を切り替え、[法的状況] セクションに移動
4. [INPADOC 法的状況]、[訴訟]、[EPO 異議申立] など、特許に関連するイベントを調べる

この例では、特許審判部 (PTAB) によって提起された当事者系レビュー (IPR) が示されています。

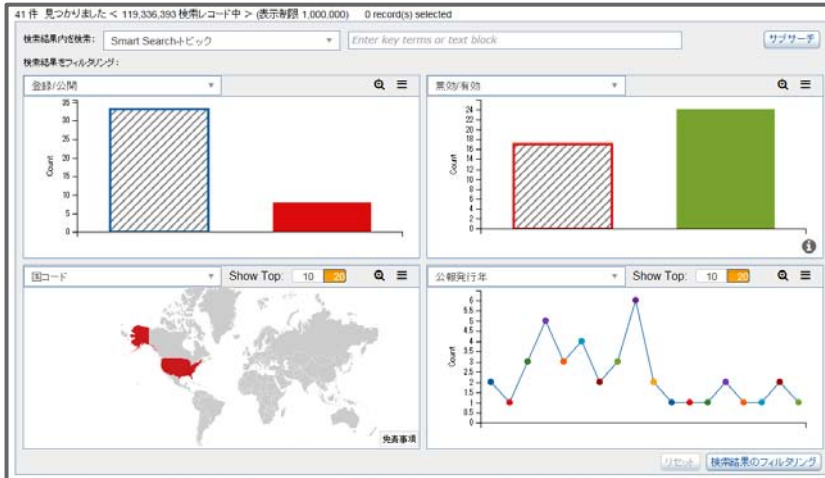
この [米国訴訟] セクションでは、提起日、原告、被告、司法管轄 (裁判所)、事件番号が表示されます。

ヒント: 合併および買収についてポートフォリオを評価しているとき、特に重要な発明について [ファミリー法的状況の取得] をクリックし、INPADOC ファミリーのメンバーそれぞれにおける法的状況イベントの要約を表示します。

注目すべき特許を特定

主要特許にフォーカス

検索結果ダッシュボードのグラフフィルターによって、興味のあるポートフォリオをすばやく視覚化して分析します。グラフから項目を選択し、[フィルタリング] をクリックすると、これらの項目の調査に集中できます。調査に役立つ主なフィルターは:



- **登録/公開:** 保護されている発明や保留のテクノロジーをすばやく特定
- **推定有効期限年:** まもなく有効期限切れとなる発明を分析
- **推定残存期間:** 長期の残存期間のある特許を評価
- **無効/有効:** 無効/期限切れ IP または有効な IP で絞込み
- **被引用文献-特許数:** 最も引用された特許をすばやく特定
- **優先権主張年:** ポートフォリオの中で新しい発明を特定

ヒント: 検索結果ダッシュボードのフィルターを組み合わせ使用します。例えば、直近 5 年の発行年、登録特許、無効の特許を選択し、企業が放棄した最近の特許またはテクノロジーを特定します。

ポートフォリオの ThemeScape マップを作成する

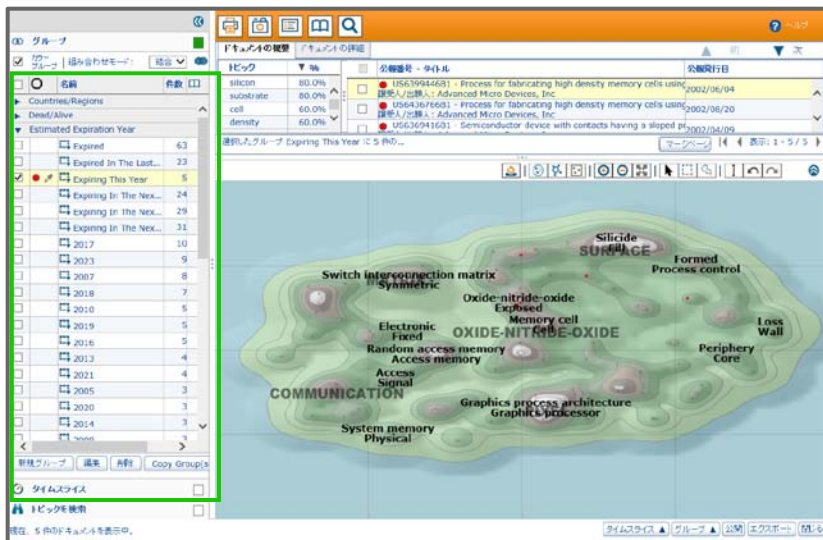
ThemeScape は、文字列をビジュアル化して掘り下げ、膨大なデータの中の類似性や相違性を明らかにするのに役立ちます。

US6459625B1	ADVANCED MICRO DEVICES INC	MONTEREY RES LLC	2002-10-01	G11C 5/02
DWPI タイトル: Electrical interconnection method for flash EEPROM, involves interconnecting circuit components in sub-circuits with metal interconnect layers having metal lines oriented in different directions				
US6388330B1	ADVANCED MICRO DEVICES INC	LONE STAR SILICON INNOVATIONS LLC	2002-05-14	H01L 21/768
DWPI タイトル: Integrated circuit has etch stop layers having specific dielectric constant, that are formed over dielectric layer and conductor core				
US6390588B1	ADVANCED MICRO DEVICES INC	LONE STAR SILICON INNOVATIONS LLC	2002-04-30	H01L 21/311
DWPI タイトル: Semiconductor device arrangement for integrated circuit includes non-operational gate arrangements on substrate surface				
US6369416B1	ADVANCED MICRO DEVICES INC	MONTEREY RES LLC	2002-04-09	H01L 21/768

1. [リセット] をクリックして、自身の包括的なポートフォリオに戻る
2. [解析] → [ThemeScape] をクリック
3. 名前を入力し、[保存] をクリック

注意: デフォルトでは、ThemeScape は英語タイトルと抄録、および DWPI タイトルと抄録を分析し、最適な分析結果を提供します。

ThemeScape によって特許ポートフォリオを調査する



ThemeScape は、ポートフォリオをすばやく分析できるグループを自動的に作成します。

- 推定有効期限年（赤で表示）は、今年に期限切れとなるレコードを表示します。また、あと 5 年、10 年、20 年で期限切れとなる発明についても特定することができます。
- 逆に、過去 5 年で期限切れとなった特許も特定することができます。
- [無効/有効] は、ポートフォリオの特許が無効か有効かを明らかにします。
- その他の自動的に用意されたグループ（上位の発行国、発行年、上位の IPC サブクラス）によってマップを調査し、さらに分析を進めます。

Derwent Data Analyzer でポートフォリオの詳細な調査を行う

Derwent Data analyzer フォーマットでポートフォリオをエクスポート

1. 包括的な [譲受人/出願人] の検索結果に戻り、[エクスポート] をクリック
2. [フォーマット] のプルダウンメニューから [Derwent Data Analyzer] を選択
3. 任意で [ファイル名] を変更
4. 任意で [ファイルを .ZIP で圧縮] のチェックを外し、[作成] をクリック
5. 注文状況画面で、エクスポート処理が完了したあと、[ダウンロード可] をクリック
6. ダウンロードされたファイルを開く

DDA エクスポートのファイルは、拡張子が PDF になります。このファイルは自動的に DDA を起動し、インポート処理を開始します。

インポート処理は、公報単位のファイル (PUB) とファミリー単位のファイル (FAM) を作成します。必要に応じて、この 2 つのファイルを使い分けれます。

例えば、発明のレベルでポートフォリオを調べるときは、ファミリー単位のファイルを使用します。また、世界的な優先権情報で調べるときは、公報単位のファイルを使用します。

特許の詳細な状態について、特許維持状況を調べる

シリアル番号	出願番号	Status (on 2017-11-01)	法的状況 (懸念 +/-)	法的状況 (懸念の年 +/-)	GRANTS	APPLICATIONS	Grant - probably active with po	Grant - probably active with ne	Grant - probably active with ne	Grant - probably active with ne	App - probably active with ne	App - probably active with ne
1	EP1237139B1	Probably Active	+	2017								
2	EP1296174B1	Probably Active	+	2017								
3	EP1489671B1	Probably Active	+	2017								
4	EP1949392B1	Probably Active	+	2017								
5	EP1956584B1	Probably Active	+	2017								
6	EP1962266B1	Probably Active	+	2017								
7	EP1370886B1	Probably Active	+	2017								
8	EP2202716B1	Probably Active	+	2017								
9	EP2237253B1	Probably Active	+	2017								
10	EP2378351B1	Probably Active	-	2017								
11	EP2378509A4	Probably Active	+	2017								
12	EP2378509B1	Probably Active	+	2017								
13	EP2396150B1	Probably Active	-	2017								
14	EP2404290A1	Probably Active	+	2017								

特許維持状況レポートは、ポートフォリオのきめ細かい情報を提供します。登録および公開特許それぞれについて、特許が期限切れの可能性はあるか、または肯定的、否定的、中間の INPADOC 法的状況の情報を示します。

1. リボン上の **[解析]** タブをクリック
2. **[特許維持状況]** ボタンをクリック

列の見出しをダブルクリックすると、その列の項目についてソートします。例えば、**[Grant-probably active with negative LLS]** でソートすると、潜在的に弱い特許が見つかります。これらのレコードは、否定的な法的状況イベントがあっても、まだ無効にはなっていない可能性があります。

バブルチャートを作成する

バブルチャート

テンプレートの選択:

テンプレートなし

ステップ 1: 行のフィールドの選択:

譲受人/出願人 (クリーン-個人を除く)

☐ グループの選択
 ☐ 全グループ
 ☒ フィールドの全項目

グループの選択

ステップ 2: 列のフィールドの選択:

+ 優先権主張年 (最先)

☐ グループの選択
 ☐ 全グループ
 ☒ フィールドの全項目

グループの選択

ステップ 3: テンプレートの実行/保存 テンプレート名:

バブルチャートは、データ間の関連をわかりやすくするために、マトリクスを視覚化します。

1. リボン上の **[レポート]** タブをクリック
2. **[バブルチャート]** ボタンをクリック
3. 調査するデータを選択し、チャート上でどのようにデータを表示するかを指定
4. **[実行 (Run)]** をクリック

バブルチャート作成のためのヒント

グループを作成しておき選択することによって、大量の全件でチャートを作成せず、特定のデータに絞って作成します。

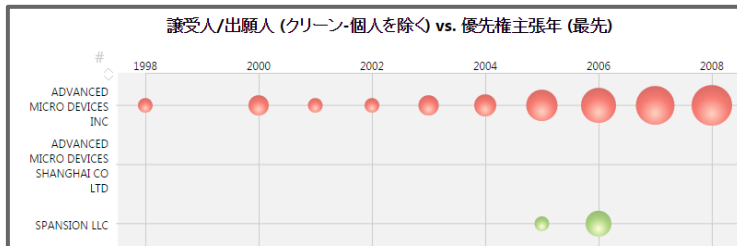
例えば、貴社の事業部門に該当するテクノロジーについて、それに関連した IPC 分類にフォーカスすることができます。また、ターゲットとなるマーケットの地域について、該当する国コードのレコードを調べることができます。

グループを作成する

1. グループ化するデータのフィールドを開く
2. そのグループに入る項目を選択（上位 10、特定の分類コード、国など）
3. 右クリックし、**[選択項目をグループに追加]** を選択
4. グループの名称を入力

ヒント: Derwent Data Analyzer のさまざまなツールによって、自動的にデータをグループ化することができます。詳細については DDA のヘルプを参照してください。

バブルチャートによって、隠れた関係性を明らかにする

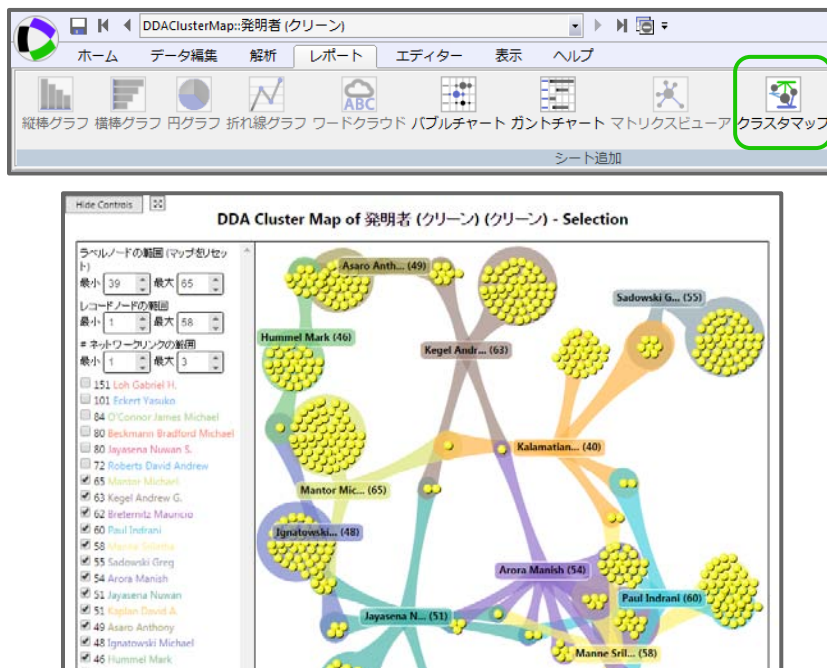


バブルチャートは、異なるデータ間の関連を理解するのに役立ちます。一般的なポートフォリオ分析（左図）では、ある企業について、優先権主張年毎に、新しい発明が生まれているかどうかについて示しています。

また、譲受人 vs. 国（ベシック、優先権、発行）の分析によって、海外に同様の出願が多数あるかどうかについて調べることもできます。

注意: このような分析には、ファミリー出願を使用したほうがいい場合があります。

ポートフォリオ内に発明者チームを特定する



クラスタマップでは、自己相関マトリクスを視覚化します。このツールは、あるリスト（例: 発明者）を取り上げ、そのリスト自身と比較します。これにより、このリストの項目間の関連（例えば、その企業内の調査および開発チーム）を明らかにします。

1. リストの **[発明者 (クリーン)]** フィールドを開く
2. リボン上のデータ編集タブ → リストのクリーンアップ → **[Person Names.fuz]** を選択 → **[OK]** をクリック
3. **[適用]** をクリックし、アルゴリズムのグループを適用
4. 一連の発明者を選択（例: 上位 20）
5. **[レポート]** タブ → **[クラスタマップ]** をクリック

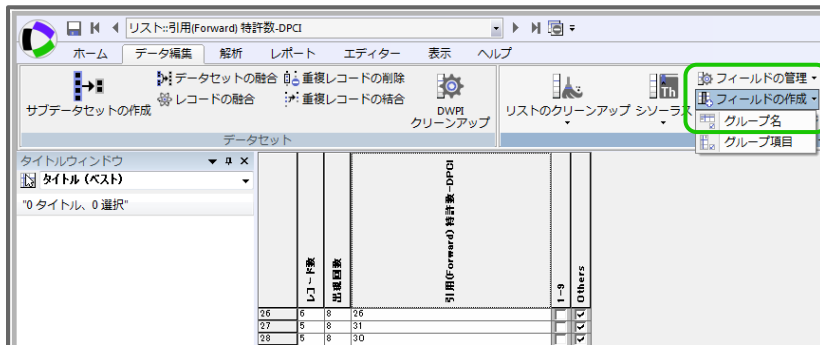
カラーの帯はそれぞれの発明者を表します。黄色の丸が入った円にカーソルを合わせると特許数が表示されます。相互に接続している線は発明者がどの特許に関与しているかを示しています。

このマップから、関与する頻度が高い人（線の太さ）や発明の多い人（円の大きさ）がわかります。

また、さまざまなテクノロジーに関与（複数のチームに関与）する発明者を特定することができます。

引用数が多い特許を特定する

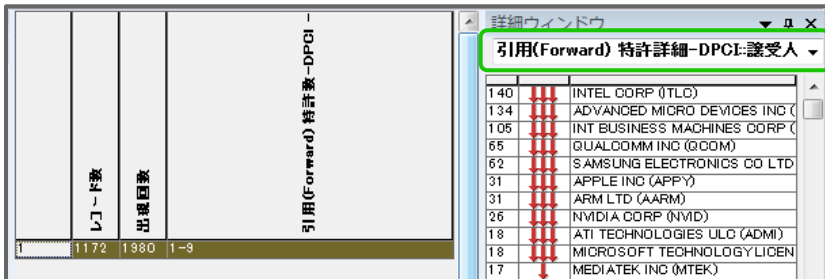
Derwent Patent Citation Index (DPCI) は、DWPI ファミリー全体に対する引用データを編集し、より完全な、発明単位の引用情報を提供しています。



1. [引用(Forward) 特許数-DPCI] フィールドを開く
2. 特定の範囲（例: 1 ~ 9 フォワードサイテーション）の引用があるレコードをすべて選択
3. 右クリックし、[選択項目をグループに追加] を選択し、グループ名を入力
4. その他の引用範囲のグループを作成
5. リボン上の [データ編集] タブをクリック
6. [フィールドの作成] → [グループ名] をクリック

これにより新しいフィールド（引用(Forward) 特許数-DWPI - Group Names）が作成されます。このリストの項目を利用して、棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフを作成し、フォワードサイテーション グループの相対的な大きさをビジュアル化すると、最も多く引用されている特許をすばやく特定できます。

ポートフォリオの上位引用企業を明らかにする



詳細ウィンドウは、リストの中の項目に関する追加情報を見つけるのに役立ちます。例えば、このポートフォリオの中で、どの企業が特許を所有しているかわかります。

1. リボン上の [表示] → [詳細ウィンドウ] をクリック
2. [引用(Forward) 特許数-DWPI: 譲受人/出願人] フィールドを選択
3. フォワードサイテーション グループを選択し、このセグメントの引用譲受人情報を調べる
4. 他のフォワードサイテーション グループを選択し、そのグループに関する情報を詳細ウィンドウに表示する

企業レポートを作成し、データカテゴリを定義



各分野の適切なフィールドを選択してください。

次の指摘があった場合:
メタタグの不足 - その分野の正しいフィールドであることを確認します。
×% のみカバー - 正しい結果が得られない可能性があります。
再度 [OK] をクリックして、確認します。

人名: 発明者 (クリーン)

機関名: 譲受人/出願人 (クリーン個人を除く)

国/地域: 優先権主張国

年: 優先権主張年 (最先)

技術: 分類-DWPI マニュアルコード

デフォルトに戻す OK キャンセル

ファミリーに基づいたファイル (DDA クリーンアップ済み) から企業レポートを作成します。

1. リボン上の [レポート] をクリック
2. [企業レポート] をクリック
3. データがクリーンアップされているかどうかを確認され、そうでない場合はクリーンアップを実行
4. 企業レポートで必須の 5 つのカテゴリについて、分析するフィールドを選択:
 - 人名: 通常、発明者
 - 機関名: 譲受人、または任意に作成した譲受人のグループ
 - 国: 優先権主張国 (発明がなされた地域) または DWPI ファミリーメンバー国 (出願先の国)
 - 年: 優先権主張年 - 最先 (発明がなされた時期)
 - 技術: DWPI マニュアルコード (Derwent 分類システム) または IPC/CPC が技術の比較に利用されます
5. [OK] をクリック

ポートフォリオの大きさによって、レポートの作成に数分かかる場合がありますのでご注意ください。

企業レポートによって詳細に分析する

年グラフ

地域グラフ

技術グラフ

地域と年グラフ

技術と年グラフ

技術と地域グラフ

発明者プロフィール

技術プロフィール

時間プロフィール

地域プロフィール

最新発明者

最新技術

発明者トレンド

Clarivate Analytics

Derwent Data Analyzer
企業レポート

企業名	1696	
レコード数	1995 - 2014	
年範囲	2006 [1330 レコード]	
レポート作成日	2019/3/4	

選択したデータフィールド	エントリ数	フィールド範囲
関係者	2449	100%
発明者	2102	100%
譲受人/出願人 (クリーン)	4	100%
優先権主張国	15	100%
最先	2077	93%
技術		
分類-DWPI マニュアルコード		

Derwent Data Analyzer Company Report は、特定の範囲内で特定の譲受人の詳細な分析を効率よく作成し、提供できるようにします。この情報には、特定会社の概要や、その会社内の活動を見極めることができます。

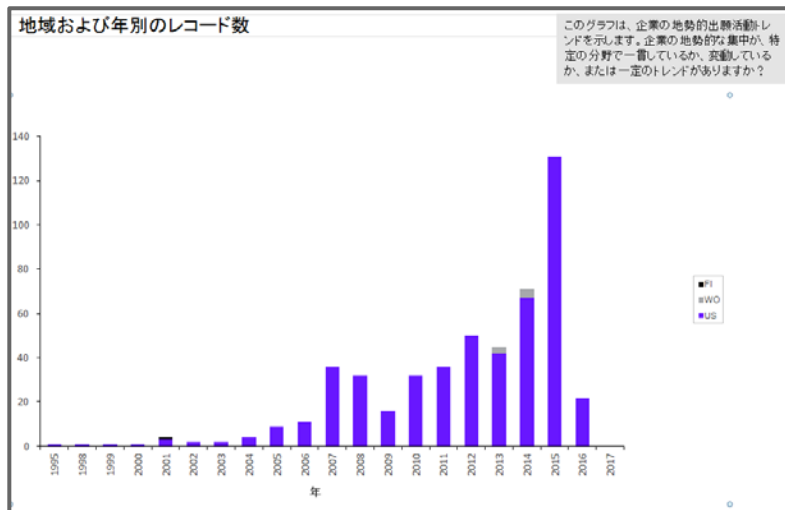
企業レポートは Microsoft Excel で開かれます。

概要シートに、この特許ポートフォリオの要約情報が表示されます。[要約] 欄には、レコード数、年の範囲、レポート作成日が表示されます。

[対象範囲] 欄には、レポートで分析されたデータの詳細が表示されます (例: 選択により優先権主張国が発行国)。

左側のリンクを使用して、ポートフォリオに関する特定の詳細情報に移動するか、各 Excel シートを直接選択します。

各グラフでは詳細な分析結果が提供され、さらなる調査を促す



各シート右上にあるグレーのテキスト欄には、そのシートの説明が表示され、さらなる調査が促されています。主な質問は以下のとおりです：

- その企業のトップのテクノロジーは何か？
- 経時的、特許発行国、テクノロジーにトレンドはあるか？
- 主要な発明者および共同出願人は誰か？

左のグラフは、優先権主張国で分類されている優先権主張年ごとのレコード数を示しています。

トップの優先権主張国には、想定どおり US および PCT が含まれています。一方、以前はフィンランドがグラフに現れていましたが、ここ数年は現れなくなりました。

詳細については、以下の資料を参照

- [Company Report \(Derwent Data Analyzer\)](#)
- [Quickly Compare Company Patent Portfolios \(Derwent Data Analyzer\)](#)
- [Evaluate Portfolios for Mergers, Acquisitions, or Licensing](#)
- [Analyze and report on your results](#)